

令和7年度教育事業報告書

事業名	なすかしの森ボランティア養成研修
期日	令和7年5月31日(土)～6月1日(日)
会場	国立那須甲子青少年自然の家
対象	ボランティアに興味関心のある高校生以上の者
参加者数	12名(大学生7名、高校生5名)
趣旨	国立青少年教育振興機構が提供する法人ボランティア養成カリキュラムに基づいて実施し、青少年教育施設で活動できるボランティアを育成する。

事業内容及び成果と課題
〈事業内容〉 当機構の法人ボランティア養成カリキュラムに基づき、参加者が実際のボランティア活動時に生かせるように「青少年教育施設の現状と運営」「青少年教育」「ボランティア活動の技術(野外炊事、キャンプファイヤー)」「安全管理」の講義・演習を実施した。 〈成果〉参加者層の拡大と内容の工夫の2点(詳細は以下) 1 昨年・一昨年は高校生の参加がなかったが、本年度は大学生の参加に加えて、地元高等学校への広報活動の成果として5名の高校生の参加があった。これにより高校生と大学生が交流しながら研修に取り組むことができた。また、経験豊富な先輩ボランティアが自身の体験を後輩たちに共有したほか、実際に参加者が来所してボランティアとして活動する際に主に指導を担う職員が講義・演習を行ったことで、参加者・スタッフ間でも今後のボランティア活動に向けてよい関係性を築くことができた。 2 「ボランティアの技術」の内容として、昨年度の野外炊事に加えてキャンドルファイヤー(キャンプファイヤー)を実施した。今後の教育事業で必要となる基礎的な知識や技能の習得を重視した結果、参加者は各活動の具体的なイメージをもつとともに、活動プログラムの指導補助に必要なスキルを身に付けることができたと考える。 〈課題〉参加者の確保等 定員30名に対し、申込みが14名、参加者が12名にとどまった。機構本部の教育事業方針では、法人ボランティア養成数の目標が41名以上と定められている。このため、大学や高等学校等の広報先を更に検討し、計画的に広報を進める必要がある。また、参加者が継続的に事業にボランティアとして参加できるよう支援するとともに、ボランティア自身が仲間を増やしていけるような働きかけを行っていきたい。
事業の様子
 講義の様子  グループワークの様子  救急救命講習の様子  野外炊事の様子  キャンドルファイヤーの様子  閉講式の様子